

外出時に大地震が発生したらどうする

【外出先における大地震】

これまでは昭島市や郷地東町地区に最も影響の大きい大地震！として立川断層帯地震をとりあげてきましたが、都心に外出中に大地震が発生するケースも想定しておく必要があります。

【帰宅困難者による混乱防止 一人一人の取り組み】

・外出の際は自分で備える

徒歩で帰宅する想定し、必要品を携帯

・発災後はむやみに移動せず

・「一時滞在施設」「災害時帰宅支援ステーション」の場所を予め確認してからでかける

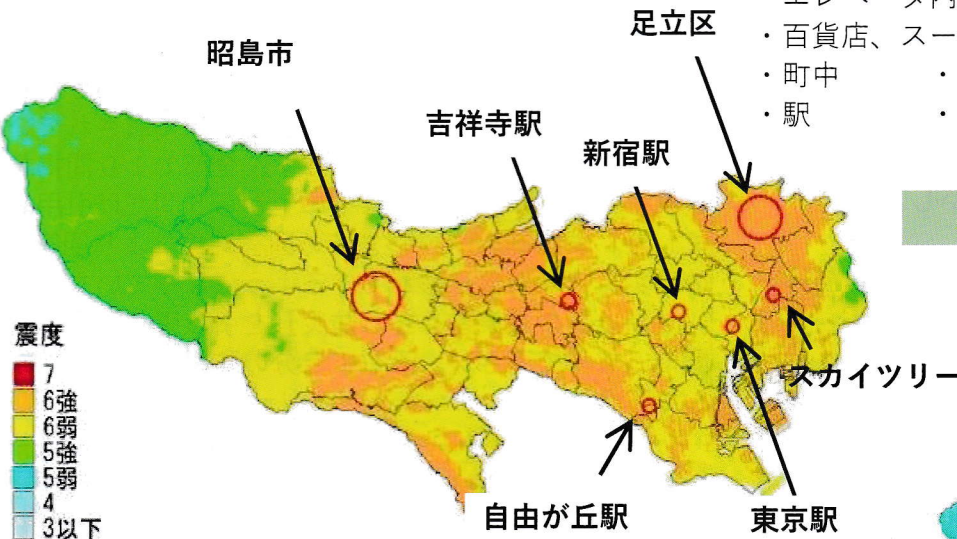


コンビニエンスストア
ファミリレストラン

ガソリンスタンド

目印はこのマークです

【多摩東部直下地震】

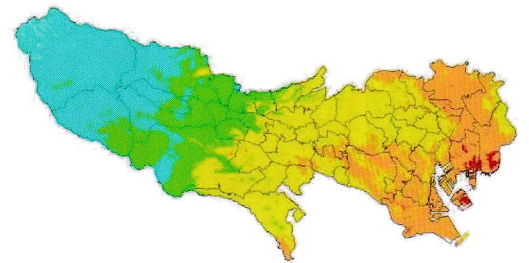


多摩東部直下地震(M7.3)震度分布

買い物やイベント等で都心に滞在中に多摩東部直下地震に遭遇してしまったケースでは、昭島の自宅に戻る為の距離がとて長いだけでなく、その途中の地域でも震度6強や震度6弱などの激しい揺れが発生しています。ふだん使用している交通機関が止まっていることが予想されます。

【都心南部直下地震】

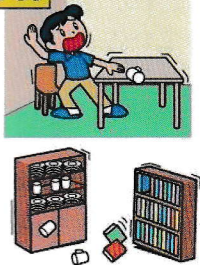
想定されている首都直下地震で被害が最大となる地震です。震度7や震度6強など強い地震が予想されます。ビルや地下街等に甚大な被害が発生すると予想されます。



都心南部直下地震(M7.3)震度分布

震度と揺れの状況（気象庁ホームページより引用）

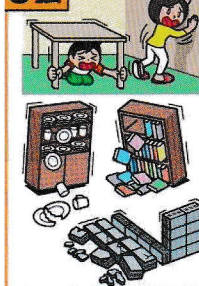
5弱



【震度5弱】

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

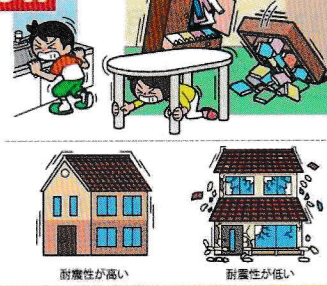
5強



【震度5強】

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多い。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

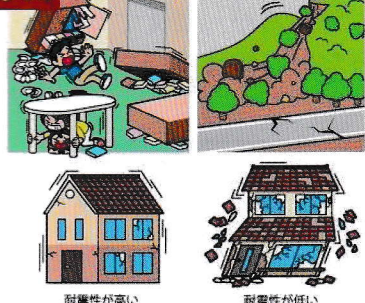
6弱



【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

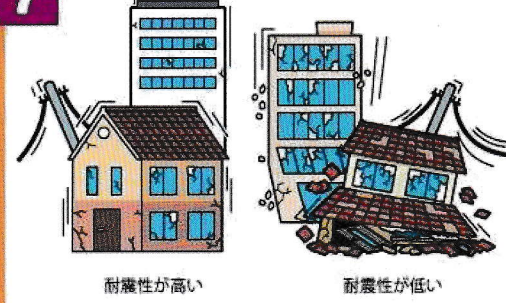
6強



【震度6強】

- はわなと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7



【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。